

「健康経営優良法人」、東海3県140法人

「健康経営銘柄」はリンナイとデンソー

従業員健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む健康経営。経済産業省は20日、健康経営に積極的に取り組む法人を選定し、表彰した。東海3県（愛知、岐阜、三重）では、東京証券取引所と共同で実施した「健康経営銘柄2018」にリンナイとデンソーの2社、「健康経営優良法人2018」は大規模法人部門37法人、中小規模法人部門103法人の計140法人が選ばれた。



リンナイは3年連続健康経営銘柄に選定された(写真は生活習慣病対策として実施しているスポーツフェスティバル)

健康経営銘柄は今回で4年目。東証の上場企業を対象に、1業種1社を選定している。今回は26業種から26社を選んだ。リンナイは金属製品から3年連続、デンソーは輸送用機器から2年連続で選ばれた。リンナイは、人事部に従業員の健康づくりの活動を進める専門部署を設置しており、メンタルヘルス対策などを実施している。

健康経営優良法人は今回が2年目。東海3県では、大規模法人部門は前回の13

法人から37法人と大幅に増えた。

初めて選ばれた百五銀行は昨年9月に「こころの健康」から「健康」に「職場の健康」を3本柱とした「健康宣言」を実施したことなどが評価された。

中小規模法人部門でも大幅に増えたが、県でバラツキがあった。愛知79法人(前回7法人)、岐阜5法人(同1法人)、三重19法人(同3法人)だった。

なお、全国では大規模法人部門は541法人(同235法人)、中小規模法人部門は775法人(同95法人)が選ばれた。

【健康経営銘柄2018】	
リンナイ、デンソー	
【健康経営優良法人2018】	
<大規模法人部門>	
アイシン精機、愛知製鋼、イビデン、ATグループ、カゴメ、協豊製作所、佐久間特殊鋼、サンゲツ、ジェイテクト、新東工業、住友理工、大同特殊鋼、タック、中部電力、デンソー、デンソーファシリティーズ、JR東海、豊島、豊田合成、トヨタコミュニケーションシステム、トヨタ自動車、トヨタ自動車健康保険組合、豊田自動織機、トヨタすまいるライフ、豊田通商、トヨタテクニカルディベロップメント、豊田鉄工、トヨタ紡織、ナベヤ、ニッセイ、日本特殊陶業、百五銀行、ブラザー工業、ブラザー販売、名鉄協商、リゾートトラスト、リンナイ	
<中小規模法人部門>	
(愛知)	
アースエンジニアリング、アイカ、アイサク、愛知県緑化センター協力会、アイピックス、avivo、アルプススチール、アルメック、イクモ、稲沢建設、エイジェントヴィレッジ、医療法人笑顔会、エス・エヌ・ビー、エムエムアイ、大橋運輸、オープンセサミ・テクノロジー、オミクロン、蒲郡商工会議所、喜多村、岐阜工業、キャリア技研、銀星、経真、小池商事、公衆保健協会、コナミノルタメカトロニクス、小森、栄土地測量設計、三幸土木、サンコー、三和鐵鋼、ジーピーセンター、ジュコー、医療法人松柏会、鈴木軌道、鈴豊精鋼、星和化成、千秋技研、大成運送、高尾、玉野化成、中部土木、デイ・サービスかなりや、テニテオ、デンソーエムテック、デンソー技研センター、デンソークリエイト、東海興業、トップライン、トヨタグループ、トヨタテック、トヨタテック大分、豊橋鉄道、豊鉄バス、布目電機、パイザー、橋本製作所、ばる、平野商運、ブラザーインターナショナル、ブラザーエンタープライズ、ブラザー不動産、ブラザーロジテック、プロテック、ヘルスカンパニー、ヘルスケアシステムズ、法研中部、ホニック、ホンダカーズ蒲郡、丸栄工業、マルケイ、丸中鍛工、宮地商店、名南経営、名豊、ゆい・リビング、ユーティ・サービス、ラッシュ・インターナショナル、リビング・サポート	
(岐阜)	
イビデンエンジニアリング、イビデン物産、鶴飼、東清、中日本ダイカスト工業	
(三重)	
東産業、稲葉建設、宇野重工、カンキョー、グッドライフ、佐野テック、津市環境公社、東海住電精密、ナヤデン、日本カラリング、久居運送、ファイン流通、宝輪、マイプレジャー、松阪鉄工所、三重県産業衛生協会、三重日立、ミスノ、四日市事務機センター	

平成30年2月21日(水)
中部経済新聞に掲載されました。